

成果の説明書

(氏名) 櫻井 常矢	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>(1) 科学研究費助成事業（基盤研究（C））調査研究の実施 課題番号：16K04557（平成 28～30 年度）研究課題：自治体・中間支援機能の再構築過程にみる学習支援構造の変容に関する研究</p> <p>(2) 論文・雑誌・学会報告等</p> <p>①表彰：「現場で役立つ復興論文大賞」公益財団法人地域創造基金さなぶり 特別賞 福島民報社賞／特別賞 福島民友新聞社賞 受賞論文：櫻井常矢『震災復興・地域コミュニティ再生と中間支援システム』</p> <p>② 櫻井常矢「対話が導く被災者が主体となる復興」 月刊『ガバナンス』2016 年 11 月号、ぎょうせい、21-23 頁</p> <p>③ 櫻井常矢「市民協働によるまちづくりと行政の役割を考える（1）（2）」 『判例地方自治』No.414、2017 年 1 月号、No.415、2017 年 2 月号、ぎょうせい</p> <p>④「“市民協働”の先にあるもの」『自治日報』（2016 年 9 月 16 日付第 1 面）</p> <p>⑤「広域コミュニティへのアプローチ」『自治日報』（2017 年 2 月 17 日付第 1 面）</p> <p>(3) 学会役員等</p> <p>① 日本地域政策学会理事 企画委員会副委員長（2014 年 7 月～）</p> <p>② 地域活性学会理事（2013 年 7 月～）</p> <p>【教育活動】</p> <p>(1) ゼミナール演習・調査活動</p> <p>①文献購読：『生涯学習と地域社会教育』（春風社）、『テキスト生涯学習』（学文社）他</p> <p>②地域運営組織の形成・展開とその拠点施設の役割に関する調査 調査自治体：群馬県前橋市・栃木県宇都宮市 調査期間：2016 年 9 月～2017 年 1 月</p> <p>③沖縄県内の公民館の民間運営に関する調査 調査先：那覇市若狭公民館・繁多川公民館、宜野湾市長田公民館 調査日：2017 年 3 月 20～22 日</p> <p>④海外フィールドワーク テーマ：ベトナム国内の Community Learning Center に関する訪問調査 ベトナム・ハノイ訪問：2016 年 9 月 10 日～15 日 ベトナム・ダナン訪問：2017 年 2 月 18 日～24 日</p> <p>⑤ゼミナール調査報告書の編集・発行 『地区と行政 協働のまちづくりに関する考察 ―山形県川西町協働のまちづくりに関する調査報告書―』櫻井ゼミ第 11 期生</p> <p>⑥ゼミナール研究年報（第 11 号）の編集・発行 発行日 2017 年 3 月 25 日</p> <p>(2) 自治体・地域との連携を通じた学生のコーディネート力の育成</p> <p>①富岡市地域づくり協議会推進事業 ⇒富岡市地域づくり協議会（市内 11 地区）の推進にかかわるサポート事業。</p>	

各地区全3回シリーズの住民ワークショップのファシリテーターを務める。

□七日市黒川地域づくり協議会 地域づくり座談会ファシリテーター

2017年3月8日(水) 会場：富岡市七日市公民館

□東富岡地域づくり協議会 地域づくり座談会ファシリテーター

2017年3月13日(月) 会場：富岡市東富岡公民館

②特定非営利活動法人自然王国ほその村〔上越市安塚区細野〕との連携事業

過疎集落の活性化に取り組む集落NPOへの参加を通じた学習プログラム。年間を通じた地域事業運営への参加を通して課題解決手法、住民の主体形成のプロセスを学ぶ。

【地域貢献】

(1) 東日本大震災復興事業関連

①浪江町復興支援員事業統括アドバイザー

⇒全国46都道府県に分散避難する町民の絆を育む浪江町復興支援員のシステム構築と事業推進に関する助言・研修講師。全31名の復興支援員、並びに活動拠点組織を全国10か所に配置しそのコーディネートに取り組む。

②浪江町「浪江のこころプロジェクト」アドバイザー

⇒5年目となる浪江町震災復興事業「浪江のこころ通信」の企画、全国取材者交流会のコーディネート、その他助言等。

(2) 国、地方自治体の各種委員・アドバイザー等

□総務省地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員

□福島県復興祈念公園基本構想検討に係る有識者会議委員

□群馬県教育委員会 点検・評価委員

□青森県地域ネットワークアドバイザー

□群馬県立都市公園指定管理者選定委員会委員

□大崎市政策アドバイザー(地域自治組織・市民協働担当)、他

(3) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する自治体職員研修

全国市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)、全国市町村国際文化研修所

(国際文化アカデミー)、山形県市町村研修所、仙台市、十和田市、八戸市、町田市、周南市、宜野湾市、守口市、魚津市、西条市、長岡市、裾野市、他

(4) 市民協働・地域づくり・生涯学習等に関する市民向け講演

自治研修協会(佐野市)、弘前市、周南市、牧之原市、十和田市、裾野市、山口市、鶴岡市、長岡市、新居浜市、新居浜市自治連、別府市、宜野湾市、光市、上田市、三沢市、五戸町、南部町、青森県、他

2 その他の事項

【学内業務】国際交流センター長(教育研究審議会委員)

地域政策学部学科のあり方検討会委員

教職課程運営委員会委員、地域政策学部実習運営委員会委員 他

3 次年度以降への抱負

研究、教育、地域貢献について前年度までの蓄積を活かしさらに新たな展開を作ることとしたい。特に2年目となる科研費研究について学会発表等を活用しながら具体的成果として推進することやフィールドワークを通じたゼミの教育プログラムの更新を図りたい。